

分野名：自治公民館活動

公民館カフェでつながる地域の輪 ～公民館を拠点とした住みよいまちづくり～

小郡市みくに野団地公民館【自治公民館】

館長 鍋島 史子・区長 豊増 直之

1. 事業名

みくに野団地公民館カフェ

2. 事業の目的

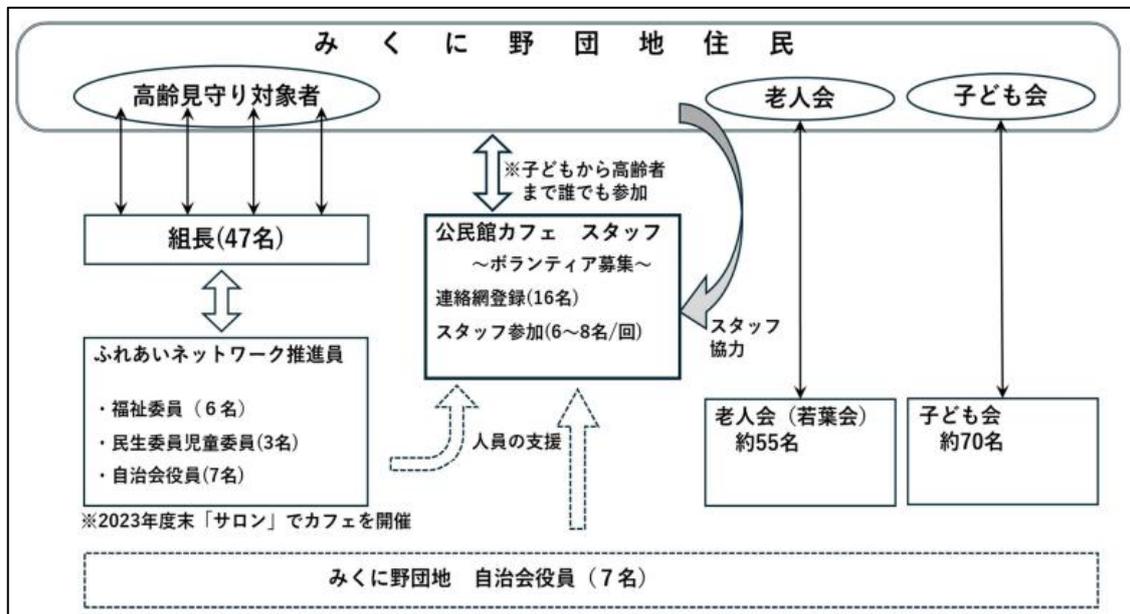
(1) 地域課題への対応

小郡市の北西部にある「みくに野団地」は、昭和40年代に作られた725世帯からなる団地で、70歳以上が32%、さらに75歳以上が23.2%を占めている。団地は坂道が多く、外出しにくい高齢者も多いため、「誰もが住みよいまちづくり」の重要性が高まっている。

(2) 世代間交流の促進、地域防災力の向上

本事業では、住民同士が気軽に集まり、世代を超えた交流が生まれることを目的にしている。日頃からの交流が、災害時の助け合いに役立つ「顔の見える関係」を育み、安心・安全のまちづくりにもつながると考えている。

3. 事業の主体



【図1：公民館カフェ組織図】

4. 連携・協力機関・団体等

本事業の運営は、住民主体の活動を基本とし、ボランティアスタッフを募って構成している。スタッフには、福祉委員や民生児童委員、自治会役員が協力し、活動が円滑に実施できるよう支援している。

5. 事業予算

みくに野団地地区費より支出

- ・2024年度予算…10万円 ※年4回カフェ実施
- ・2025年度予算…12万円 ※スタッフ打合せ会の充実のため前年度予算に上乗せ

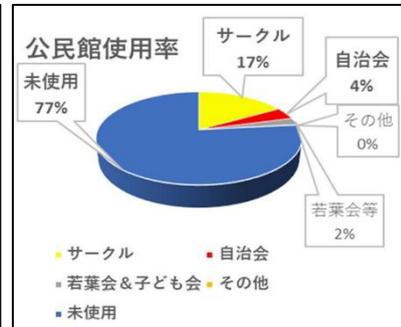
6. 実施に至る経緯

みくに野団地公民館は築55年を迎え、「建替えか改築か」を住民の間で討議する中、利用率が低い現状や活用不足の課題が浮き彫りになった(表1・図2)。その中で、坂道の多い団地内の住民が気軽に訪れる場として、公民館を活用するアイデアが議論された。

アイデアの中には、「公民館を魅力ある場所にする必要がある」との声が多く聞かれ、世代を超えた交流の場として、誰もが気軽に利用できるカフェ事業に取り組むことが決定した。まずは既存の「ふれあいネットワーク(※)」を生かし、今回のカフェ事業をスタートした。(※)小郡市社会福祉協議会が推進する、高齢者や障害者などの見守り体制

	午前	午後	夜間	合計	使用率
全体	1,464	1,464	732	3,660	100%
サークル	370	232	4	606	17%
自治会	124	8	18	150	4%
若葉会&子ども会	64	24	2	90	2%
未使用	906	1,200	708	2,807	
未使用率	62%	82%	97%	77%	

【表1：公民館使用状況(2023年)】



【図2：公民館使用率】

7. 事業の内容

2023年11月に第1回目となる「公民館カフェ」を開催し、地域の特性や住民の声を取り入れながら、団地内の住民が気軽に訪れたいと思う場づくりを意識し運営している。

(1) 具体的な実施内容

① 作品展示コーナー

参加者の中で特技や趣味を持つ住民に作品を持ち寄っていただき、絵手紙やパッチワークなどを展示した。団地内住民の一人ひとりの個性が光り、作品を披露できる「やりがい」を創出する場づくりになった。

② 音楽演奏会

自治会役員有志によるギターの演奏では、「懐かしい昭和歌謡」から「馴染みのある童謡」まで幅広い選曲で、会場内はリラックスした雰囲気に包まれた(写真1)。演奏に合わせて、子どもと高齢者が一緒に合唱する様子も見られ、世代を超えた交流ができた。



【写真1：第1回カフェクリスマスコンサート】

③ 団地をテーマとした〇×クイズ

みくに野団地地区の歴史や生活についてのクイズを行い、景品獲得を目指して参加者一同で盛り上がった(写真2)。クイズを通して地域のことをよく知り、愛着を深めることができた。



【写真2：第3回カフェ〇×クイズ】

(2) 参加状況とアンケート結果

2024年度に年4回開催した公民館カフェでは、合計106名が参加した(表2)。その中には、これまで公民館利用の機会が少なかった子育て世代の家族や若い夫婦の参加も多数見られた。また、参加者へのアンケートでは、「初めて参加して楽しかった」「赤ちゃんの手を握って嬉しかった」「久しぶりに声を出して歌った」等の感想とともに、「また来たい」といったリピート希望者が多いことが分かった(図3)。

No	実施日	参加者	アンケート回収	リピート希望(率)	75歳以上	75歳未満	
1	6月	26	22	20	91%	12	10
2	9月	18	11	11	100%	6	8
3	12月	37	24	20	83%	14	7
4	2月	25	17	11	65%	12	4
	合計	106	74	62	84%	44	29

Figure 3 consists of two pie charts. The left chart, titled 'リピート希望率' (Repeat Hope Rate), shows that 84% of respondents want to come again, while 16% do not. The right chart, titled '来場者年齢比率' (Attendee Age Ratio), shows that 59% of attendees are 75 years old or older, and 39% are under 75. The total number of respondents is N=74.

【表2：アンケート結果(2024年)】

【図3：リピート希望率及び年齢比率(2024年)】

(3) ボランティアスタッフ拡充のための取組

住民主体の取り組みを持続させるためには、スタッフを募る仕組みをさらに拡充していく工夫が必要である。現在は、①スタッフへ「メンバーズカード」の発行②「スタッフ会」への招待を行い、参加特典の付与や地元珈琲店からの美味しいコーヒーの淹れ方講座の開催等、楽しみながら実施できる工夫をしている。

8. 事業の成果

(1) 地域コミュニティの広がり

カフェ事業の開催を通して、公民館を拠点とした地域コミュニティが徐々に形成され、住民同士の交流が活性化した。これからも「世代を超えたつながり」を広げ、「住み続けたいと思える団地」を目指した活動を進めていきたい。

(2) 災害時の助け合い

カフェでの交流を進める中で、災害時に近隣に住む方同士が協力し助け合う「共助」の関係性づくりにも寄与できたと考える。

9. 今後の課題

(1) 認知度向上に向けた広報活動

カフェ事業をより広く住民に周知するためには、読みやすく分かりやすい回覧チラシの作成、日常会話の中での声かけといった工夫が求められる。今後も地道で継続的な広報活動が必要であると考えます。

(2) ボランティアスタッフの育成

公民館で行うカフェは、区役員や一部の参加者のみで運営している現状があるため、「公民館(自治会)主体のイベントから「住民主体(ボランティア)」として自主的参加を促す必要がある。

問合せ先

〒838-0102 小郡市津古 846-3

みくに野団地公民館 TEL 0942-75-2850

(小郡市役所 コミュニティ推進課 コミュニティ推進係 TEL 0942-73-9126)